令和６年度

授業改善推進プラン

多摩市立多摩第二小学校

令和６年度「全国学力・学習状況調査」及び「学びに向かう力等に関する調査」結果より

児童の実態

・思考・判断・表現に関する問題や、記述式の問題での正答率が特に低く、自ら考え、表現することに課題がある。

・間違えた問題を復習したり、見通しをもって学習に取り組んだりしている児童が少なく、基礎・基本を積み重ねる学習習慣や学習姿勢に課題がある。

学校教育目標

考える子　◎思いやりのある子　元気な子

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領
東京都教育委員会教育目標
多摩市教育委員会教育目標

目指す児童像

主体的に問題解決に取り組む児童

学びに向かう力、人間性等

知識及び技能　思考力、判断力、表現力等

各教科

実生活

深い学び

知の活用

既習事項・既有経験・関係付け

深い学びへとつながる対話

協働的な学びへと
つながる関わり

「自らの問い」
「全員で解決すべき課題」

「主体的･対話的で深い学び」を生む学習過程

教職員間での共通理解・協力

児童の課題を複数の教員で共通理解し、指導に当たる。また、互いの授業や板書を見て意見交換を行い、教材研究や授業研究を共に行う。

東京ベーシック・ドリルの活用

診断シートに基づく算数少人数のクラス編成や、東京ベーシック・ドリル、「ミライシード」の活用により学習内容の更なる定着を図る。

家庭・地域との協力

個人面談や日常で、児童の生活や学習の様子を伝え合い、実態に応じてよりよい指導に生かすとともに家庭学習の定着を図る。また、必要に応じ、特別支援教室専門員、発達支援室等と連携する。

家庭学習の定着

宿題に取り組むことを習慣化させ、家庭学習の定着を支援する。全学年①国語（漢字）②算数③音読の３つを基本の宿題とし、６年間継続して取り組ませる。また、東京ベーシック・ドリルの電子版「ミライシード」の家庭での活用を促す。